

こども・若者の意見反映に関する取組状況に関する調査（地方自治体向け調査票）

Q1	ご所属の都道府県、市区町村の6桁の都道府県コード又は市区町村コードを記入してください。【必須】	
-	（市区町村名）※都道府県名は表示されません。	
Q2	ご所属の都道府県、市区町村の人口規模について、あてはまるものを選択ください。【必須】	
Q3	貴自治体において、令和6年1月1日から同年12月31日までの間に、施策の対象となるこどもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるために、こども・若者から直接意見を聴取する取組（対面・非対面は問わない。）を実施したか、有無を回答してください。【必須】 （※）調査事項が事実に関するもののみに限られている調査（事実に関する事項を問うことがあっても、意識等の把握を専らの目的とする調査の中で設けられている場合は調査の対象としてください。）は含まないこととします。	
Q4	対象期間内に実施したこども・若者から直接意見を聴取する取組について、実施しているもの すべて に○をつけてください。【Q3で「実施している」を回答した場合】 （※）1つの取組の中で複数手法を用いて意見聴取をしている場合は、該当するものを すべて 選択してください。	このセルは入力しないでください。
	不定期（単発）に会話ベースで意見聴取（例：対面での意見聴取、施設等での意見聴取）	
	不定期（単発）に文字ベースで意見聴取（例：こども・若者向けバブコメ、インターネットアンケート、チャット）	
	定期的（複数回）に会話ベースで意見聴取（例：審議会・懇談会におけるこども・若者委員等の発言、こども会議）	
	定期的（複数回）に文字ベースで意見聴取（例：意見箱）	
	その他（※）○の場合は自由記述欄も必ず記入	
	その他を選択した場合、自由記述	
Q5	貴自治体において、こども・若者から意見を聴取する取組を主導する担当部署は、次のうちどれですか。（把握できている範囲で問題ございません。）【必須】 その他の部署を選択した場合、自由記述	
Q6	当該取組を主導する担当課長補佐級以下の職員（併任を含む。併任とは、こども・若者の意見聴取・意見反映の取組を含む業務を行っていることをいう。）の人数を選択してください。【Q5で「こども政策担当課」または「その他の部署」を回答した場合】 その他を選択した場合、自由記述	
Q7	当該部署の「こども・若者の意見反映や社会参画の推進等」に係る令和6年度予算額を記入してください。（単位：千円）【Q5で「こども政策担当課」または「その他の部署」を回答した場合】 当該予算額の内数の場合、この欄に○をつけてください。	
Q8	以下、Q4で回答いただいたこども・若者から意見を聴く取組のうち、貴自治体における 代表的な取組1つ （以下「当該取組」という。）について伺います。 当該取組において、実施した手法 すべて に○を付けてください。【Q3で「実施している」を回答した場合】 （※）1つの取組の中で複数手法を用いて意見聴取をしている場合は、複数選択してください。 （※）こどもまんなか実行計画（令和6年5月31日こども政策推進会議決定）において本調査において、「学校や教育委員会等の先進的な取組事例を含む好事例の横展開を図る」とされていることから、 優先的に学校や教育委員会の事例を 記載いただきますよう、ご検討いただけますと幸いです。 （※）「こども計画等に係る自治体基礎調査」においても、自治体こども計画の策定状況における意見聴取の取組状況をご質問しておりますので、自治体こども計画の策定に関する取組 以外 の取組について、優先的にご回答いただくことをご検討ください。 （※）こども家庭庁が実施している「こども・若者意見反映サポート事業」に基づく取組 以外 の取組をご回答ください。	このセルは入力しないでください。
Q9	当該取組の目的・概要を記入してください。【Q3で「実施している」を回答した場合】 （例：今までで行ってきた市のこども・若者の社会参画や意見反映に係る取組の改善点や、今後市がどのようなことに取り組んでいくと良いのか聴くため、小学生から20代のこども・若者に対し、オンライン会議、アンケートの手法を用いて、計〇名から意見聴取を行った。）	
Q10	当該取組で聴取した意見をどのような事業に、どのようにして反映させましたか（又は、反映させる予定ですか。）。【Q3で「実施している」を回答した場合】 （例：出てきた意見を●●審議会の資料とし、同審議会での議論を経て、〇〇計画に反映させた。また、これ以外にも、担当課室内で共有した結果、△△の徹底に関する局長通知の発出や、「〇×運用指針」に××について明記することにした。）	
Q11	当該取組で意見を伝えたこども・若者に意見の反映結果をどのようにフィードバックをしていますか（又はする予定ですか。）。【Q3で「実施している」を回答した場合】	
Q12	当該取組について、意見を聴取したこども・若者の対象年齢を すべて に○を付けてください。【Q3で「実施している」を回答した場合】	このセルは入力しないでください。
	小学生	
	中学生	
	高校生年代	
	大学生世代（19～22歳）以上の若者	
Q13	当該取組において、声をあげにくいこども・若者（不登校、障害児、医療的ケア児、社会的養護を必要とするこどもなど）からも意見を聴取しましたか。【必須】	
Q14	当該取組において、意見を聴取したこども・若者の属性を記入してください。【Q13において「実施した」を回答した場合】	
Q15	貴自治体でのこども・若者から直接意見を聴く取組を進めていくうえで、何が課題であると考えていますか。当てはまるものを すべて 選択してください。【必須】	このセルは入力しないでください。
	担当部局の職員の知識・経験	
	担当部局の職員の人数	
	担当部局以外の理解	
	意見聴取について協力（委託）できる事業者	
	意見聴取をする参加者の確保	
	意見聴取をする場所の確保	
	意見聴取をする人（ファシリテーター）の確保	
	反映できる対象・事業・制度	
Q16	Q15で選択した「課題」のうち、最も課題と考えているものを1つ選択してください。【必須】	